

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>1)園での生活を通じ思いやりのある子どもに育てます。</p> <p>2)お子様のご家族の皆様にご喜ばれる価値のある地域密着の保育園を目指しております。</p> <p>3)地域に必要とされるため徹底したサービスを提供し、豊かな暮らしを提供したい。</p> <p>4)お子様には、保育士や友だちとのつながりを広げ、身近な人とのかかわりを大切にします。</p> <p>5)一人ひとりの子どもの気持ちを大切に受け入れを尊重します。</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	<p>子どもの個性・特性・発達を理解し、寄り添える人。子どもが大好きな人。自らの経験に奢ることなく向上心のある人。</p> <p>一人ひとりを見極め、応じられる保育者であり、保護者との信頼関係・職員同士の協調が出来る者。</p>
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	<p>子どもが中心の保育。子どもや保護者に寄り添う保育。</p> <p>子どもの安全を第一に体を張って子どもを守れること。小さな変化や危険を探知し、未然に防げること。</p> <p>保護者の悩みや、体調にも気づけること。</p>

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	当園の、調査時点での在籍数は16名でした。姉妹で通っている子どもがいましたので15世帯を調査対象とし、11世帯から回答を得ました。	
調査方法	保護者への調査票の配付は園で実施しました。回答は保護者から直接評価機関宛に郵送してもらいました。	
	利用者総数	16名
	利用者家族総数（世帯）	15世帯
	共通評価項目による調査対象者数	15名
	共通評価項目による調査の有効回答者数	11名
	利用者総数に対する回答者割合（%）	73.3%

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」が8名（72.7%）「満足」が3名（27.3%）で回答者全員が満足以上と回答しています（この3年間の利用者アンケートでは回答者の全員が満足以上と回答しており園の進めている保育について、保護者からの高い評価が見られました）。意見や要望では「家庭の事情を理解し臨機応変に対応してくれありがたい」「本をたくさん読んでくれ、行事もとても大切にしており感謝しています」「先生方は日中活動でたいへん細かいところまで気づいて帰りに教えてくれます。職員の皆さんは優しく何でも相談できる環境です」「連絡帳にその日の様子や先生方がどのように子どもに接しているのかを細かく書いてくれて嬉しいです」「愛情をもって子どもに接して下さっているのが大変感謝しています。いつも、朝より可愛い髪形になって帰ってくるので良いなと思います」「家では体験できない遊びや学びを保育園のおかげでできていると感じています。0歳児のため、家でどのように遊んであげたら良いか分からなかったですが、園で他の年上の子ども達と接したり、遊んだりすることで、良い刺激を受けているようです」「先生の入れ替わりがちょっと多い気がします。大変なお仕事ではあると思いますが辞めないで継続して働くことができ、さらに良い園になってくれたらいいなと思います」などの声が聞かれました。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	11	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	10	1	0	0
回答者の90.9%が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	10	0	0	1
回答者の90.9%が「はい」を選択しています。「非該当」の回答者が1名いました。コメントでは「家では偏食がひどいが保育園では完食しているみたい。家でパンとヨーグルトしか食べなくても園では食べてくれると思うと神経質にならずに済む」との声がありました。				
共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	10	1	0	0
回答者の90.9%が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	2	0	2
回答者の63.6%が「はい」を選択しています。コメントでは「土曜保育をお願いした時の対応見直し」についての声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	8	3	0	0
回答者の72.7%が「はい」を選択しています。コメントでは「たまにケガをしてきた時に状況を聞くと、『場面を見ていなかった』と言われるので安全対策は十分かと聞かれると『うーん?』という感じです。80~90%くらいで、概ね安全だと思う」との声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	1	0	0
回答者の81.8%が「はい」を選択しています。コメントでは「会社を早退しないといけない時間帯に行事があることがある」との声がありました。				

8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	11	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	1	0	0
回答者の90.9%が「はい」を選択しています。コメントでは「夕方迎えに行くと、掃除機をかけているのは見るのでたぶんきれいにしていると思う」との声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	11	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	9	2	0	0
回答者の81.8%が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	6	2	0	3
回答者の54.5%が「はい」を選択しています。コメントでは「0歳のため」との声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	11	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	11	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	10	1	0	0
回答者の90.9%が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				

16. 利用者の不満や要望は対応されているか	8	2	0	1
回答者の72.7%が「はい」を選択しています。コメントはありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	5	3	0	3
回答者の45.5%が「はい」を選択しています。コメントでは「あまり困っていない」との声がありました。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1（1-1）	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（〇〇）	
	評価	標準項目
	●あり○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点（〇〇）	
	評価	標準項目
	●あり○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（〇〇〇）	
	評価	標準項目
	●あり○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー1の講評 カテゴリー1の講評を入力してください	
	園の理念や保育方針は入園案内やホームページで明示し内外に広く伝えています 入園時に説明する入園案内には「保育理念」が明示しており、「園での生活を通じ思いやりのある子どもに育てる」とし、地域密着の保育園を目指すことなどが説明されています。保育理念・保育方針は、「園生活を楽しく過ごす、健康、丈夫な体づくり、思いやりのあるところづくり、思いをつたえる表現」を柱として説明しています。職員には契約時に園の考え方を詳しく話し、また、折に触れて説明しています。利用者には入園案内や重要事項説明書などで、保育提供にあたり乳児・幼児の最善の利益を考慮する考えも合わせて伝えています。	

経営層は保育理念の実現に向け、自らの役割と責任を明確にして職員に伝えています

園長はじめ職員の職務内容は運営規定に定めています。規定では「園長は職員及び業務を一元的に管理し指揮命令をおこない、園児を全体的に把握し、園務をつかさどる」となっています。保育理念では「園での生活を通じ思いやりのある子どもに育てる」とあり、これら目標の実現に向け園長は保育活動、各種行事などを通して業務を率先しています。当園は開園3年目で課題もあり、園長自らクラスの担任も受け持ち、職員と共に課題解決に取り組むと共に運営管理者として具体的な役割と職責を職員に伝えリーダーシップを発揮しています。

重要案件は経営層が意思決定をおこない、職員や保護者に説明し周知を図っています

重要案件には園運営に関するものや行政からの通達への対応などがあり、基本は園長が職員や保護者の意向を確認しつつ決定しています。経営層での協議が必要と判断されるものは、園長が設置者と協議し決定しています。職員の意向の確認が必要な内容は、職員会議やミーティングで自由に意見を話し合い、その後合意を得ています。既決事項は決定経過を説明して同意と協力を得るとともに回覧物は職員全員から確認印をもらい周知の徹底を図っています。保護者への連絡は広報誌・掲示、電話やメールアプリでの配信をおこない漏れのないように伝えています。

2

カテゴリー 2

事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー 1 (2-1)

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点 (〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー 2 (2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点 (〇●●)

評価	標準項目	
○あり●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
○あり●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		カテゴリー2の講評を入力してください
<p>園を取り巻く情報は各方面から収集し分析して課題の抽出に役立てています</p> <p>園を取り巻く環境情報は各方面から把握・検討し課題を抽出しています。駅に近い高層マンション内での開園ということで多くの見学希望者があり、見学者にアンケートを記入してもらい環境等の意見を把握しています。保護者からは保護者会やアンケートで運用・環境面での課題や希望を聞き取っています。職員とはミーティング及び面談で、課題の抽出と対応を話し合っています。都や区からは福祉事業全体の動向や区内入園空き情報など、事業所連絡会や地域の小規模連絡会では地域情報を把握するなど、各方面の情報を収集・分析し課題抽出に役立てています。</p> <p>中長期計画では、数値目標は立案していますが具体的内容は現在検討中です</p> <p>事業所が目指している理念の実現に向け、中長期計画の策定に向けて準備しています。5年先までの数値目標は策定していますが中長期計画としての具体的な実施内容の作成は現在検討中です。年度計画としては園がおこなう保育の計画、年間行事予定及び日常の計画は立案・実行されており、保育内容の充実と質の向上に取り組んでいます。年度計画は園長中心に職員が協力して作成し、保護者の意見も確認しながら取り組んでいます。今後定員割れの問題、保育士不足問題など厳しい環境に対応するためには中長期計画で先の見通しに対する対応が必要と思われます。</p> <p>保育計画の取り組みは実施しており、組織マネジメント面の課題にも取り組んでいます</p> <p>事業所の運営に向けた年間の保育計画や各種行事計画は円滑に遂行されています。年明けに振り返りをおこない、新年度に向けた計画は職員とのミーティングや「保育実践振り返りシート」を使った面談を通して進めています。計画の実行に関し組織マネジメントにおける「環境の把握・活用及び計画の策定・実行」や「職員と組織の能力向上」などの内容面では若干課題があることを認識しています。園長中心にこれらの改善に向けた活動を進め、より良い園運営になるように取り組んでいます。</p>		
3	カテゴリー3	
経営における社会的責任		
サブカテゴリー1 (3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取	○非該当

り組み、定期的に確認している。

サブカテゴリー 2 (3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に
対応する体制を整えている

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者 に伝えている	○非該当
●あり○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目 2

虐待に対し組織的な防振対策と対応している

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互 に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組 織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー 3 (3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組ん でいる	○非該当
●あり○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目 2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点 (〇〇●)

評価	標準項目	
○あり●なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをして いる	○非該当
●あり○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡 会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー 3 の講評

カテゴリー 3 の講評を入力してください

職員の守るべき法・規範・倫理を周知し、遵守するよう取り組んでいます

園長及び職員は社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理を遵守されるよう取り組んでいます。施設の運営規定で「子ども・子育て支援法」及び厚生労働省告示の「保育所保育指針」が記載されています。また、「就業規則」の服務規律では職員の心得るべき内容が項目別に記載されています。これを受け園長は職員の新規採用時において倫理面の研修をおこない、採用後はミーティング等を通して再確認するなど、都度認識を新たにしています。区主催の保育者実務研修などでの関連テーマには、職員が参加できるように努めています。

利用者の意向や要望を多様な方法で把握し、対応する体制を整えています

入園説明会や保護者会では利用者の意向を把握し保護者が安心して園児を預けられる体制があることを伝えています。苦情相談制度については重要事項説明書で相談窓口を設置し担当者名・連絡方法、第三者委員へ相談できることなどを伝えています。玄関には意見箱を設置し気軽に意見を述べるができるようにしています。園児の人権擁護及び虐待防止については体制を整え、虐待の発生やその兆候が疑われる場合は、虐待防止マニュアルに基づいて対応することになっていきます。

地域の福祉に役立つ取り組みの準備を進めています

入園案内の保育理念では「お子様のご家族の皆様に喜ばれる価値のある地域密着の保育園を目指す」ことを掲げ、地域の一員として活動を始めています。小規模連絡会では子どもの保育、子育て支援を総合的に進める活動を開始しました。ただ園の職員数はまだ不足していること、開園3年目であり内部の運営安定化に力をそそぐ段階であることなどがあり、地域の福祉ニーズに対する園の機能や専門性を外部へ提供することは今後のテーマといえます。地域ネットワーク内での共通課題では姉妹園の実績を参考にしながら体制を整えています。

4	カテゴリ-4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリ-1 (4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
	評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	●あり○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	●あり○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリ-2 (4-2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
	評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
●あり○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	

●あり○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
<p style="text-align: center;">カテゴリー4の講評</p>		<p style="text-align: right;">カテゴリー4の講評を入力してください</p>
<p>園の目標に対する阻害要因は各種マニュアルを整備しています</p> <p>園の運営を阻害する恐れのあるリスクはそれぞれ対応を決めて進めています。新型コロナウイルス感染症は行政のガイドライン及び区の通達に沿って作成した新型ウイルス感染症マニュアルで対応しています。また不審者対策マニュアル、地震などの防災マニュアル、衛生管理・食物アレルギーのマニュアルなどを整備しており、一部姉妹園のマニュアルや区の資料を参考に園独自のマニュアルも作成しています。緊急事態発生時に対する避難訓練や引き渡し訓練及び不審者対策訓練は毎月定期的実施し園児の事故防止に備えています。</p> <p>園の安定した運営のため、事業継続計画を策定しています</p> <p>園の安定した運営に向け園長と職員は総力を挙げて取り組んでいます。園のある建物は高層マンションで常時警備されており不審者の侵入や火災等に対しては高い安全性があります。しかし自然災害や深刻な事故等に遭遇した場合への対応として、本年度、BCP（事業継続計画）を策定しました。BCPは職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組みを始めています。特に職員には研修の一環として内容の理解度を深める取り組みをおこない、避難訓練実施後は職員間で結果と振り返りをおこないさらなる改善に努めています。</p> <p>園の情報管理を適切におこなうため収集・保管・活用等に関する管理方法を定めています</p> <p>園が扱う情報には、開示・周知して活用すべき内容と特定使用以外は機密保持すべき内容があります。職員が活用すべき情報は各自パスワードを持ち、園内ではタブレット等で必要な時にいつでも見られるようにしています。重要な紙媒体の書類は施錠した書庫に保管し、電子データとなっているものは園長専用パソコンに保管しています。個人情報は個人情報保護法に基づき、「個人情報保護マニュアル」で個人情報の種類、管理方法、第三者への提供の制限、非開示に関する規定を設け管理しています。</p>		
5	<p style="text-align: center;">カテゴリー5</p>	
職員と組織の能力向上		
<p style="text-align: center;">サブカテゴリー1（5-1）</p>		
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目1		
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点（○○）
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2		
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点（●●）
評価	標準項目	
○あり●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3		

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点 (○○●●)
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
○あり●なし	2. 職員一人ひとりの意向や経歴等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり●なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4		
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点 (○○○○)
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを運動させている	○非該当
●あり○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2 (5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1		
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー5の講評		カテゴリー5の講評を入力してください
<p>必要な人材は多方面から募集し、園が求める人柄の職員を採用しています</p> <p>職員の採用に当たっては求める人材像を明確にし、保育の求人紹介サイト、ハローワーク、ホームページの求人情報欄等を活用して募集しています。求める人材として、子どもに対して「好き」じゃなくて「大好き」、保育士と子どもの二つの目線でみることができる、子どもに好かれる元気な保育士、を望んでいます。採用に当たっては、人柄で採用しその後に技術を教えることを基本に、笑顔があること、協調性があること、が採用の基本方針になっており、採用面談ではこれらの点を確認するとともに採用後の育成と配置についても説明しています。</p> <p>園が目指す人材像を踏まえ、職員の育成に取り組んでいます</p> <p>園が目指す保育理念の実現に向け、職員一人ひとりの技能レベルの向上と意識を高めることが必要と考えています。開園後日が浅いため、日々の保育の安定を最優先としていますが、職員の育成も大切と考え取り組んでいます。研修は日常のOJT研修に加え、区が作成した年間研修計画や年齢別担任研修などに職員を参加させてキャリアアップを図っています。将来的には職員の希望を聞き長期的な展望を描いた個人別育成計画の作成を考えています。各職員が受講した研修は研修報告書を作成し、個別ファイルで管理しています。</p>		

職員の定着と意欲の向上を通し、チームワークを高め組織力を発揮しています

職員の定着と意欲の向上に向け職員間の良好な人間関係の構築を図り、働き続けられる職場づくりに取り組んでいます。健康面では定期的な健康診断の実施、勤務体系では早番と遅番の設定と週間勤務時間のシフト管理、休暇では夏季休暇や有給休暇の取得管理をおこない、安心して働ける職場環境を目指しています。また園児の水遊びや散歩など職員間で協力が必要な場合は全員で取り組んだり、研修で学んだことはミーティングで報告しあうなどチームワークを大切に、組織力が発揮できるように取り組んでいます。

7

カテゴリー7

事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1 (7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

〔課題・目標〕

開園後新規採用した職員の一部が退職するなど問題があり、「早い時期に職員の数を充足させること」が課題としてあります。現在園長のほかに保育士や調理師が勤務していますが充実を図るため、まだ2～3名必要としており、安定した園運営に向け職員の増員を考えています。

〔取り組み〕

保育士の増員を当面の課題として採用活動に力を入れています。区のハローワークへの求人募集の掲載、保育関係の求人サイトへの募集登録、また、ホームページに求人情報を載せ「就職活動中の皆さんへ」欄でのアプローチ、など多方面に採用活動を働きかけています。また園の見学者に対しても職員の紹介をお願いしています。

〔取り組みの結果〕

11月末までに現在の職員に対し来年度の意向確認をおこない、それをベースに年末年始を通して来年度の採用決定する準備を進めています。現在の職員の定着化に関しては園長が中心となり各職員と面談をおこない業務面・福祉面での充実及び働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

〔振り返り・今後の方向性〕

求める職員の人材像を明確にしており、本年度も、園の保育理念と活動内容に共鳴できる職員の採用活動を進めています。

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

当園は2021年4月に開園し現在3年目になります。ライフスタイルの多様化の進展、共働き及びシングルマザーの増加といった社会構造の変化に対応し、国や自治体は「子育て支援」に力を入れています。その結果、少子化の進展にもかかわらず保育士のニーズは増えており採用には困難が伴っています。その中で当園はここ3年の間に4名採用しましたが、2名退職したこともあり、職員の増員と定着化・安定化が重要な課題となっています。

採用活動では園のホームページに求人情報の「就職活動中の皆さんへ」の欄を設け、この中で保育士の目線で園の様子やスタッフ間の良好な関係、有給休暇が取りやすいことなど詳細に説明し積極的な募集活動を進めています。その他、ハローワークへの求人募集の掲載、保育関係の求人サイトへの募集登録、など多角的に進めています。

職員の定着化では安心して働けるよう、園長が職員と話し合いお互いの理解を深めるとともに業務面・福祉面での充実及び働きやすい環境整備に取り組んでいます。一方職員間どうしてもミーティングを通してお互いに仕事を助け合うといった園の雰囲気づくりを実践し成果に結びつけています。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

〔課題・目標〕

開園3年目の当園は「園児の安定した入園で利用率を上げる」ことを課題としています。毎年引越し・転動等で利用者の退園が発生するため補充が必要となります。当園は小規模経営であるため少数の不足でも運営には大きく響きます。目標は区の認可保育園募集概要にある定員を満たして100%の利用率を維持することです。

〔取り組み〕

当園は駅から5分の好立地にありますが、高層マンションの2階の一角を利用しており、外から見るとビルの入居施設の案内に小さく確認できるだけであまり目立つとは言えません。現在の取り組み項目として、ホームページを充実させて知名度を上げること、区の情報を活用して園の空き状況を公表していること、園の見学会では積極的に良さをアピールすること、に力を入れています。今後は地域との関係づくりにも力を入れて入園の機会を増やしていきます。

〔取り組みの結果〕

開園初年度、0歳児は定員6名に対し2～3名からスタートし、本年度も4月時点でも1名定員不足でしたが、9月以降に定員に達することができました。今後も取り組みを継続し利用者の定員100%を目指しています。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p>●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p>●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p>●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

以前は大きな課題であった待機児童問題はその後対策が進み、逆に少子化の進行も相まって定員割れの問題が発生しています。このような環境の中、園長や設置者は開園後常に利用率100%を目指して取り組んできました。しかし利用者の中から毎年引っ越し・転勤が発生するため、安定して高い利用率を維持するためには困難が伴い、そのため多くの対策を講ずることが求められます。園は利用者の確保に向け、ホームページを充実させ園の紹介や保育状況、保育士の紹介など細かく説明することで安心して子どもを預けられる環境にあることを伝えています。更に区の情報を活用して園の空き状況を公表しています。園の見学会では新しい清潔感のある建物、常時ビルの警備員がいる安全な園であることなど積極的に良さを説明しています。今後、利用者のエリアを広めるため、設置者は園が入居しているマンションに居住している住民へのアプローチ、近隣から駅に向かう住民に対しての働きかけの準備を進めています。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリ-6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目	
1	サブカテゴリ-1	
	サービス情報の提供	サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点（〇〇〇〇）	
	評価	標準項目
	●あり○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している ○非該当
	●あり○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている ○非該当
	●あり○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している ○非該当
	●あり○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している ○非該当
	サブカテゴリ-1の講評 サブカテゴリ-1の講評を入力してください	
	<p>園のホームページにより保育方針や年間行事、給食の写真などを発信しています</p> <p>園のホームページには、保育方針として「園生活を楽しく過ごす」「健康的な生活が出来る様育てます」「丈夫な身体を育てます」「思いやりのある子どもに育てます」「思いを伝えられる子に育てます」を掲げ、職員紹介や、1日の流れ、年間行事、入園申込みは区役所であること等を掲載しています。頻りに更新されているため、毎日の給食や、食育活動の写真も見る事ができます。ホームページはイラストを数多く配し、スマートフォン等で読みやすい形式で作られ、保育施設を探す保護者に必要な情報を届けています。</p> <p>区の公式ホームページにある小規模保育施設一覧に園の情報が掲載されています</p> <p>全国の教育・保育施設を検索できる内閣府のサイト「子ども子育て支援情報システム（ここdeサーチ）」に園の情報が掲載されているため、遠方から転居する人も園の存在を知ることができます。区役所の担当課とは定期的に情報をやりとりしています。区の公式ホームページには、小規模保育施設一覧があり、所在地や連絡先、定員、保育の特徴などの基本情報を得ることができます。小規模保育募集人数一覧のページもあり、各園の年齢児ごとの空き人数を毎月公表しています。園と区のホームページは、相互にリンクが張られ、保護者の便宜を図っています。</p> <p>見学者を一組ずつ受入れ、子どもたちがのびのびと遊んでいる様子を見てもらっています</p> <p>「見学は大歓迎です。実際に自分の目で子ども達の様子や教員の関わり方等を見てください」とホームページで知らせています。電話やメールで日程を調整して、見学者を一組ずつ受入れ、園長が対応しています。見学時間は午睡とおやつが終わった16時半頃からにして、子どもたちが園内で遊んでいる様子を見てもらっています。初めて園内に入った父母は、保育室が明るく清潔であることや、少人数であるため子ども一人ひとりを大切に見ている姿に強い印象を受けるようです。見学者から離乳食などの育児相談を受ける場合もあり、丁寧に応えています。</p>	

2	サブカテゴリー2		
サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1			
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている			評点 (〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
●あり○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
評価項目2			
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点 (〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
●あり○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
●あり○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
サブカテゴリー2の講評		サブカテゴリー2の講評を入力してください	
<p>新入園児の保護者には事前説明会で園のサービスやルールについて丁寧に説明しています 区役所の担当課から2月後半に、新年度の4月入園が決まった子どもたちの名簿と書類が届きます。園では入園前健康診断の日程と合わせて事前説明会を開いています。説明会では、契約書や重要事項説明書の項目を一つ一つ読み上げて、契約時間や保育料金、緊急時対応などについて説明し、同意を得たうえで署名捺印を受けています。また「入園案内」の冊子を使って、登園・降園に関するルール、連絡帳の扱い、給食・薬・病気に関するお願いや、着替え・エプロン等の持ち物について説明し、不安なく入園準備ができるようにしています。</p> <p>入園により子どもにストレスがかからないよう短時間からの慣らし保育を実施しています 入園時に保護者から提出された家族状況、入園までの生活状況、通園経路の地図や、健康診断表等の書類は、個別の児童票にファイルして、支援に役立つ基礎情報としています。入園という環境変化で子どもの心身にストレスがかからないように、最初は短時間から始める慣らし保育を実施しています。初日は1時間保育室で過ごしてみても、子どもの様子を見ながら時間を延ばしていき、2週間から1ヵ月位かけて契約した保育時間に移行していきます。複数の子が同時に入園した時は登園に時間差をつけて、一人ひとりが園に慣れていけるよう見守っています。</p> <p>転園に悩む保護者の相談を受け、親子に合った園に移っていけるよう支援しています 0歳児～2歳児までの園であるため、子どもたちは次の園へ移っていくことになります。年度末にはみんなでお別れ会を開き、退園する子には職員がメッセージを書いたカードや記念品を贈っています。年度途中で退園する子にも同じようにカード等を贈り、励まして送りだしています。転園先は、認可保育園や預かり保育のある幼稚園などです。子どもの転園先に悩む保護者の相談を受けて、「この子には少人数保育を続けさせたい」などの要望に合った選択ができるよう助言しています。保護者には退園後も電話等でいつでも相談に応じることを伝えています。</p>			

個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、
子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点（〇〇〇〇〇）

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点（〇〇）

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している

評点（〇〇）

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

サブカテゴリー3の講評を入力してください

全体的な計画を基に各年齢児の年・月・週の指導計画を立て、個別月案も作成しています

全体的な計画を基に各年齢児の年間指導計画、月案、週案を立てています。月案ではクラスとしての目標を立てるとともに、子ども一人ひとりにその月の「食育」「予想される子どもの姿」「保育者の援助と配慮」を記入した個別月案を作成しています。年間指導計画は4つの期ごとに、月案・週案は次の計画を立てる時に、前回の反省と評価をして次に活かしています。保護者には、園だよりでクラス月案を伝えています。例えば園だより7月号には、1歳児クラスの今月の目標として「言葉や手振りなどで自分の気持ちを表現する」とあります。

毎日の活動は保育日誌に、個々の子どもが成長する姿は発達経過記録に記入しています
 保育日誌には、その日のクラス全体の活動を記入する欄と、個々の子どもの様子を記録する個別欄があります。個別欄には、公園で虫を見つけ友だちや先生にも伝えていたなど、子どもの生き生きした姿がわかる文章が書かれています。また一人の子どもが成長していく姿を、0歳児は毎月、1～2歳児は2か月に1回、発達経過記録に記入し児童票にファイルしています。「一人でくつがはける」「食前食後の挨拶ができる」など成長の指標に達した時期を記し、文章によるまとめを記入して、在園中の記録が蓄積されていくようになっています。

健康記録やミーティングによって子どもと保護者の情報を職員間で共有しています

クラス担当になった職員は予め児童票等を読みこみ、子どもの基本情報を把握したうえで保育にあたっています。各指導計画や保育日誌などの書類は、保育園業務支援システムに入力する方式を取っています。職員はいつでもタブレットで指導計画を確認したり子どもたちに関する記録を読んだりすることができます。保育室には紙媒体の健康記録を置き、個々の子どもの体温、睡眠、排泄、保護者との連絡等を記入して勤務時間の異なる職員の間で情報共有しています。クラスや全体でのミーティングでは子どもや保護者の状況をより深く話し合っています。

5

サブカテゴリー5

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

サブカテゴリー5の講評を入力してください

子どもと保護者のプライバシーを守ることを入園時に説明しています

入園時に交わす契約書には、秘密保持の項目があり「保育を提供する上で知り得た乳幼児、保護者及びその家族等に関する秘密を第三者に漏らしません」と明記しています。子どもが映っている写真などをパンフレットやホームページに掲載する時は、個人が特定できないように加工するほか、そのつど保護者に承諾を求めるようにしています。保護者と個人面談をする時などは、他の人に聞こえないように配慮しています。職員にも、他の保護者に聞こえる場所で子どもや保護者の事情を話題にしないように徹底しています。

着替えやオムツ替え、トイレなど日常保育の中で羞恥心に配慮した対応をしています

日常保育の中で子どもの羞恥心に配慮し、オムツ替えや着替えは、一人ずつ人目に触れない場所で行っています。保育室の脇に引き戸で出入りできる別室があり、衣服の着脱を伴う支援をする時に役立てています。子どもへの対応では、一人ひとりを尊重し、呼び捨てやあだ名で呼ぶことがないようにしています。家庭での呼び方を教えてもらったうえで、「ちゃん」や「くん」「さん」をつけた呼び方をしています。家庭によって価値観や生活習慣が異なるため、保護者の考えや意見を聞きながら支援の方法を考えています。

虐待を防止するため、子どもと保護者に適切な支援をする姿勢を持つようになっています

児童虐待については、園独自の虐待対応マニュアルが作成されています。マニュアルの冒頭には「私たちはこの問題の知識と理解を深め、子どもの人権を守り、虐待を防止していかなければならない。また、虐待をしている親自身が悩み、やめたいと望んでいる場合も多く、親子ともに暖かい支えと適切な支援を行っていくことが必要である」とあり、園の姿勢を示しています。マニュアルには虐待予防チェックシートが付いていて、子どものケガや表情、衛生面、連絡のない遅刻が多いことなど、虐待の兆候を発見するポイントを職員間で共有しています。

6

サブカテゴリー6

事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

サブカテゴリー6の講評を入力してください

姉妹園のマニュアルを参考に独自のマニュアルを作成し業務の標準化を進めています

令和3年に開設した新しい園ですが、区内で長く運営してきた姉妹園があり、そのマニュアルを参考にして園独自のマニュアルを作成してきました。危機管理、保健衛生管理、地震等防災、不審者対策などの独自マニュアルがあります。また日常保育に直結した散歩マニュアル、水遊びマニュアル、沐浴マニュアルなども揃ってきました。当園のあるビルの構造や内部の設計に対応したマニュアルが作成されることにより、業務の標準化が進められています。その場ですぐ確認して行動できるように、119番への連絡方法、消毒の方法等を掲示する工夫もしています。

区役所が作成したマニュアルや、国の機関によるガイドライン等を活用しています

区は主に区立保育園を対象にしたマニュアル類を作成し、区内の保育施設に提供しています。食物アレルギー対応、発達支援、危機管理、衛生管理など多岐にわたるマニュアルがあり、園ではそれらをファイルして参照しています。他に文部科学省の手引書もファイルしています。子ども家庭庁による「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時のガイドライン」は、そのまま園のマニュアルとして活用しています。区の担当課からの定期的訪問時に助言を受けることも、仕事の質を一定水準以上に維持するために役立っています。

マニュアルの回覧やチェックリストの活用により、職員間で業務手順を共有しています

職員には、水遊びマニュアルなど日常業務と関わりの深いマニュアルが回覧され、末尾に読んだというサインを記入しています。コロナ禍の中で開設した園であるため、区からは感染防止のための詳細な文書が届きましたが、付いていたチェックリストを活用してドアノブやパソコンまで消毒する手順を職員が習得しました。園の業務全体については、年度単位で見直しをしています。保護者会で出された要望、ミーティングでの職員の意見などを取入れながら、次年度の計画を立てています。

III サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている	評点（○○○○○）	
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
		評価項目1の講評	評価項目1の講評を入力してください
<p>子どもたちが自分で玩具を出し入れして主体的に遊べる環境設定をしています</p> <p>0歳児には、小さな手に持ちやすく口に触れても安全な玩具を用意しています。例えばやわらかいギザギザのボールで感触を味わったりしながら遊んでいます。1歳・2歳児クラスは、子どもたちの手が届く棚にカゴを置き、遊びたい玩具を自由に選べるようにしています。またカゴには玩具の写真を貼り、自主的に片付けが出来るように工夫されています。天井には子どもの作品をすぐに飾れるようになっていて、自分が作ったものを見て完成の喜びを味わうことができます。各年齢の作品の特徴も見られ、保護者にも大変喜ばれています。</p> <p>一人ひとりの個性を大切にし特性を伸ばす保育を日々心がけています</p> <p>集団の苦手な子どもや触れ合いを好まない子どもは、無理じいをせず声をかけ寄り添いながら丁寧に接しています。活動力のある子どもだけに働きかけるのではなく、一人ひとりの個性を見て接していくように心がけています。毎日、朝の会と体操などの時間を持ち、音楽に合わせて楽しく体を動かしたり、読み聞かせに参加したりしています。参加していない子どもに対して「できない」と決めつけず、ゆっくり興味を持てるように促しています。発達面で気になるところのある子どもについては区の専門機関と連携し、助言を基に情報を共有して保育しています。</p> <p>合同保育により月齢・年齢の異なる子どもたちが相互に刺激を受けています</p> <p>月齢・年齢の異なる子どもたちが一緒に活動する合同保育を毎日実施しています。ボールを使って遊ぶとき、0歳児は、コロコロと転がるボールをハイハイで追いかけて、1歳児クラスはふわふわのボールを投げて遊び、2歳児はプールの中にボールを入れて手で動かしたりしています。1歳児はシールを貼り、2歳児は手先が器用になって貼ったシールを剥がして遊んでいます。自然に1歳児が2歳児の真似をする姿が見られます。大きい子は小さい子を思いやるようになり、それぞれが成長しています。保育士は玩具の取り合い等が起きないように配慮しています。</p>			

2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点 (〇〇〇〇)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="162 228 370 264">評価</th> <th data-bbox="370 228 1369 264">標準項目</th> <th data-bbox="1369 228 1503 264"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="162 264 370 309">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 264 1369 309">1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している</td> <td data-bbox="1369 264 1503 309">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 309 370 407">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 309 1369 407">2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している</td> <td data-bbox="1369 309 1503 407">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 407 370 452">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 407 1369 452">3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している</td> <td data-bbox="1369 407 1503 452">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 452 370 510">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 452 1369 510">4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている</td> <td data-bbox="1369 452 1503 510">○非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	●あり○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	●あり○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当	●あり○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当								
評価	標準項目																						
●あり○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当																					
●あり○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当																					
●あり○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当																					
●あり○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当																					
評価項目 2 の講評			評価項目 2 の講評を入力してください																				
<p>登降園時には、保護者に声をかけ子どもの様子を伝えあっています</p> <p>受け入れ時に体温、顔色など視診をおこない保護者から体調面など聞き取りをしています。連絡帳には、検温、食事、排便、機嫌、就寝、起床時間、お迎え時間などが詳細に記載され、子どもの生活リズムを把握できるようになっています。また降園時には、園での様子を記載した連絡帳を渡し、口頭でも詳しく話したりしています。早番・延長番の引き継ぎのため「健康記録」に検温、午睡時間、排泄、連絡事項等を記入し、職員同士で共有しています。早退した子どもが翌日に登園した際、前日の「健康記録」を早番が見て子どもの体調を確認することができます。</p> <p>子どもの生活が安定するよう心がけ保護者の協力も得ています</p> <p>食事や着替え、トイレなど基本的な生活習慣が身につくよう、無理なく丁寧に進めています。給食時は椅子を引いてテーブルに向き合わせ、正しい姿勢で食事ができるように声をかけています。友だちと食卓を囲み、保育者から声かけをするうちに、スプーンを使って食べるようになっていきます。トイレトレーニングでは、強制せずに自らトイレに座れるように促しています。また2歳児には保護者と相談し家から下着を持参してもらいパンツで生活しています。男児が立って用を足せた時には保育者とハイタッチしたりして、明るく励ましながら見守っています。</p> <p>子どもたちが十分に睡眠や休息が取れるように工夫しています</p> <p>月齢・年齢や、家庭での睡眠時間、活動内容、体調などに配慮しながら、どの子どもも適切な睡眠が取れるようにしています。部屋にはクラシック曲を流し、子どもたちが落ち着いた静かな気持ちで入眠できるよう工夫しています。実際の午睡時間は健康記録に記載し、職員間で共有しています。感染予防のために、午睡用の布団は1メートル以上離して敷いたり、頭と足が互い違いになるように寝かせたりして注意をはらっています。</p>																							
3	評価項目 3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点 (〇〇〇〇〇〇)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="162 1639 370 1684">評価</th> <th data-bbox="370 1639 1369 1684">標準項目</th> <th data-bbox="1369 1639 1503 1684"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="162 1684 370 1729">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 1684 1369 1729">1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> <td data-bbox="1369 1684 1503 1729">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1729 370 1774">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 1729 1369 1774">2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td> <td data-bbox="1369 1729 1503 1774">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1774 370 1872">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 1774 1369 1872">3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td> <td data-bbox="1369 1774 1503 1872">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1872 370 1917">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 1872 1369 1917">4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td> <td data-bbox="1369 1872 1503 1917">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 1917 370 2016">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 1917 1369 2016">5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</td> <td data-bbox="1369 1917 1503 2016">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 2016 370 2110">●あり○なし</td> <td data-bbox="370 2016 1369 2110">6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td> <td data-bbox="1369 2016 1503 2110">○非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	●あり○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	●あり○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	●あり○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	●あり○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	●あり○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当		
評価	標準項目																						
●あり○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当																					
●あり○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当																					
●あり○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当																					
●あり○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当																					
●あり○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当																					
●あり○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当																					

保育の中で子どもたちの様子を観察し声を聞きながら環境を設定しています

子どもたちが大好きな乗り物、ままごと、ブロック、絵本など十分な量の玩具を用意し、トラブルが起きずに遊びこめる環境設定をしています。図鑑に興味を持つ子が増えたので、電車・動物・植物などの図鑑の表紙や写真を壁に貼ると、「あっ！これ見たことあるね」「この電車知っているよ」とお友だちと会話も弾んでいます。絵本も沢山提供し、場面の切り替え時などに読み聞かせをしています。0歳児の様子を連絡帳で「ネコが歯みがきをする絵本を見て、自分も手を口にあてて真似をしていた姿が可愛かったです」と保護者に伝えたりしています。

子どもの気持ちをくみ取って代弁し、言葉の発達を促しています

0歳児クラスでは、7月の園だよりに「おしゃべりが大好きで目が合うと、あーうーと喃語でお話を楽しんでいます」と書かれていました。月齢が低い子にも、泣いている時には「お腹すいたね。ミルク飲もうね」と話しかけています。子どもがボールを追いかけている時に「待て待て～」と保育者が気持ちを代弁したり、赤い車を持って遊んでいる姿を見て「赤いブーブだね」と声をかけて、言葉の発達を促しています。今回の訪問調査日にも、子どもたちに保育者が優しく接して、つねに肯定的な言葉がけをしている姿が見られました。

天気の良い日には毎日散歩に出かけ、虫や花を観察して季節の変化を感じています

園はビルが密集した地域にありますが、天気の良い日は積極的に戸外に出て、自然に接することができる公園で遊んでいます。6月の園だよりには「虫や花を見つけると〇〇があったと保育士に教えてくれるようになり季節を感じています」とありました。散歩先で車や電車と出会うと、車が大好きな子どもたちは、目を輝かせて友だちと会話しています。ビルの中の保育園であるため、雨や雪の日も濡れずに2階のテラスを散歩することができ、雨の音や匂いを感じたり雪が降ってくる様子を観察したりして、五感を大切にしたい体験を積み重ねています。

4

評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

夏祭りなどの行事は、子どもたちがワクワクできる内容を工夫し開催しています

7月の夏祭りには、日常保育の中で盆踊りの曲を流し、振付を覚えて練習を楽しみました。子どもたちが引っ張る山車は、重さを感じられるように水を入れたペットボトルを入れて作っています。当日は保護者も参加して、山車の周りで盆踊りを踊り、ヨーヨー釣りなど様々なゲームを楽しみました。ひもを引っ張るとお菓子が釣れるゲームや、段ボール製の箱に付いたハンドルを回すと恐竜の入った卵が出てくるゲームなど、子どもたちも大喜びでした。一緒にうちわをつくる製作コーナーを設けるなど、行事日には親子で楽しい時間を持てるように工夫しています。

運動会は日々の活動の積み重ねを活かし、子どもの成長が見られる機会にしています

昨年までの運動会は、感染防止のため保護者も子どももクラスごとの入れ替え式で開いてきました。今年はいれ替えなしで、保護者全員が全クラスの子どもの姿を見て成長を感じられる内容を企画しています。体操・かけっこ・お遊戯、また円形の布を回転させたり上下に動かすバルーン競技、また保護者参加競技も予定しています。遊びの中でかけっこをするなど、月案では運動会に向けた計画を立てています。日常保育の延長で楽しんで練習に取り組み、子どもたちが自信を持てるように声をかけ、のびのびと運動会に参加できるよう支援しています。

行事への保護者の理解と協力を得るためにいろいろな工夫をしてお知らせしています

園だよりには夏祭りを予告するかわいいイラストをつけ、日時・内容・場所などを忙しい保護者に分かりやすく記載しています。また仕事後に夏祭りに来る父母のため「浴衣・甚平は預かります」とも書いてあり、保護者に対しての配慮が見られます。また日々の保護者対応で子どもの様子を伝え、ポスターや掲示などを通じて、行事に関心を持ってもらっています。今回の利用者調査には「行事など保護者と一緒にできてよい」との回答がありました。行事後にも、園だよりでクラスの様子を伝え、保護者に子どもたちの雰囲気は伝わるようにしています。

5 評価項目 5
保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目 5 の講評 評価項目 5 の講評を入力してください

子どもたちはどの職員とも信頼関係があり朝夕の時間も安心して過ごしています

朝は7時30分から9時30分までが1・2歳児が合同保育で過ごし、異年齢児と一緒に体操をして朝の会をおこなっています。夕方は16時から18時30分までが合同保育となり、穏やかに遊べるように配慮しています。安全面の配慮が重要な0歳児は、1・2歳児の人数が減ってきた時点で加わってきます。園では朝の会や食育、行事など日常的に合同保育をしているため、子どもたちはどの職員とも信頼関係ができていて、家庭的な雰囲気の中で過ごしています。夏は夕方に水分補給をしたり、冬は加湿器を使うなど健康で快適に過ごせるようにしています。

夕方には普段と違う遊びを楽しみ、お迎えの保護者に子どもの様子を詳しく伝えていきます

夕方は0歳児クラスの子どものたちも合同保育を経験しています。保護者は「年上の子どもたちと接することで刺激を受けている」と受け止めています。夕方の時間には、普段は使わないブロックやままごと道具などを出して、少人数でも昼間とは違った楽しさを感じられるようにしています。子どもの人数が少なくなって寂しくなってきた子どもには、抱っこして1対1で絵本の読み聞かせをしたりして、不安なく過ごせるよう心がけています。遅番の職員には昼間の様子を引き継ぎ、お迎えに来た保護者の時間の許す限り、丁寧に1日の様子を伝えるようにしています。

6 評価項目 6
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点 (〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当

野菜が多く栄養バランスの取れた給食を提供し、子どもたちは食事を楽しんでいます

区役所の担当部局から送られてくる献立表を基にして、野菜が多く栄養バランスの取れた給食とおやつを提供しています。安全な国産の食材を使用し、行事食では野菜を花型や星形に型抜きをするなど目でも楽しめる工夫をしています。保護者の手作りエプロンを使い、着席位置も決まっているので、安心して食事をすることができます。献立表は園のホームページに毎月掲載され、保護者がスマートフォン等でいつでも見ることができます。「嫌いな物でも保育園の給食では食べてくれているので安心です」という保護者の感謝の声も届いています。

保護者と連携し、子どもの状態に応じた離乳食やアレルギー除去食を提供しています

離乳食は、家庭での進み具合を確認した上で、後期食から始め、保護者と相談しながら、具材の大きさや硬さを確認して進めています。食物アレルギーを持つ子どもについては、医師の診断書に基づき、毎月保護者に献立からの除去内容の確認をうけたうえで、対応食を提供しています。また、アレルギー児専用の色の違うトレーと食器を準備し、配膳時や提供時には複数の職員で確認しています。他の子から離れた場所にアレルギー児の座席を設け、保育者が介助や見守りをして誤食防止に努めています。

食育計画に基づき、子どもたちの食への興味と意欲を育てています

0歳～2歳児までの園ですが、食育計画を立てて毎月積極的に食育活動を実践しています。野菜を見たり触ったり匂いをかいだりして、給食で出てくる食材に興味を持たせています。また色々な野菜を写真で見せたり、レモンを切って食べてみたりしています。ゴボウを題材にした時は、長さや形を確かめながら触り、皮をむいて匂いをかぎ、切ったゴボウを入れると水の色が変わる様子を見せました。また園では区が推奨する「ひと口目は野菜から」を方針とし、給食では野菜から食べはじめています。保護者には園だよりで、その月の食育の様子を知らせています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当

子どもたちが自分で病気やケガを防ぐことができるよう援助しています

子どもたちの体調を確認するため、登園前に検温をしてきてもらい、園内では12時30分、15時30分と3回検温チェックをしています。子どもたち自身にも、検温は病気を発見するために大事なことだという意識づけになっています。手を洗う際には「石鹸ゴシゴシしてからお水で流しましょう」と声をかけ、手洗い指導をしています。また毎日体操をして、動きの中で体幹を鍛えバランス感覚を養い、転倒などによるケガの予防に努めています。散歩に出かけるときは、交通ルールを守り、車に気をつけて歩く習慣をつけています。

園の嘱託医に相談し助言を受けながら、子どもたちの健康管理をしています

嘱託医による健康診断を0歳児は年に4回、1歳児・2歳児は、年に2回実施しています。毎月おこなう身長・体重計測の結果は、連絡帳の最後のページで保護者に知らせています。家庭のかかりつけ医が、園の嘱託医と同じである園児が多いため、嘱託医と連携して保護者の心配事の相談や離乳食の進め方などに助言を得ています。また保育中の体調不良やケガなどの場合も、すぐに連絡し相談や助言を得ることができています。常時医療的な配慮が必要な子どもについては、保健センターなどの専門機関と情報共有し連携する体制があります。

感染症の情報を保護者に知らせ、午睡時には乳幼児突然死症候群の予防に努めています

夏は、0歳児は沐浴、1歳児・2歳児はシャワーをして汗を流し、子どもたちが常に気持ちよく過ごせるように配慮しています。保護者には園だよりの中で「子どもの夏風邪」など季節の健康知識を発信しています。感染症が発生した時は、玄関に掲示しています。また乳幼児突然死症候群を防止するため、午睡時に0歳児は5分、1歳児・2歳児は10分おきに、呼吸や顔色、寝ている姿勢をチェックし、うつぶせ寝から上向きの姿勢に直したりしています。更に0歳児の午睡中には、肌着の上からお腹にセンサーを付け、二重のチェック体制を敷いています。

8 評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点 (〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目 8 の講評 評価項目 8 の講評を入力してください

保護者の就労状況や家庭事情に応じて、お迎えの遅れなどにも柔軟に対応しています

保護者が安心して子育てができるように、個々の就労事情や家庭の事情に配慮しています。保育の時間帯や休みの日の受け入れ等、可能な限り柔軟に対応しています。使用したおむつの持ち帰りがなく、園で処分していることも保護者に好評です。子どもの体調に変化があった時は、勤務先の遠い保護者には早めに連絡を入れて、職場からの移動をしやすくしています。通勤電車がストップしお迎えが遅れたりした日は、保護者の気持ちになって子どもと一緒に待つようにしています。

保護者会を開いて子どもたちの育ちについて話し、親同士の交流の場を作っています

保護者会は年2回、5月と2月に開催しています。年度最初の保護者会では、園長から職員を紹介し、園の方針や年間行事予定、離乳食の進め方などを話しています。担任からは、子どもたちの様子や年齢に合った育ちなどの資料を保護者に渡して話し、子育ての知識を共有しています。保護者どうしが交流できる懇親の場を設けていることも、孤立しがちな親たちが友だちを作れるきっかけになっています。また園だよりやお知らせなどは配付するだけでなく玄関にも掲示し、子どもたちが園で活動する様子を保護者に知ってもらえるようにしています。

連絡帳のやりとりなど日常のコミュニケーションが養育力の向上につながっています

連絡帳に園での様子を詳しく書いているので、保護者からも子育ての悩みを相談する文が書きこまれてきます。連絡帳に保護者から「子どもが家で私たちに噛みついてくるので困っています」と書いてこられた時は、「保育者が真剣に目を見て話をしています」と園での子どもの接し方を伝え、「家でもやってみます」と感謝の言葉をもらっています。日々のやりとりが、保護者の子育てを励まし、養育力を向上させることにつながっています。保護者からは給食の試食をして家庭での料理に活かしたいという要望もあり、園では計画を立てています。

9 評価項目 9
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目 9 の講評 評価項目 9 の講評を入力してください

園の近くには遊具のある公園や電車の見える公園があり、散歩先として活用しています

園のあるタワーマンションの近くには、子どもたちが遊べる公園が数カ所あり、天気の良い日の散歩先として活用しています。最寄り駅には数本の路線が乗り入れているため、電車の見える公園では、子どもたちが色々な電車を見て歓声を上げています。「赤は〇〇線だよ」と保育士も知らない電車の種類を、子どもが教えてくれたりしています。他の園の子どもたちと出会った時は、公園内の玩具を交代で使うなどして交流しています。

子どもたちはマンションの警備員さんや商店街の人々とふれあう機会を持っています

子どもたちが散歩に出かける時は、マンションの警備員さんや、商店街のおじさんおばさんたちと挨拶を交わし、おなじみの存在になっています。飼っているゾウガメを子どもたちに見せてくれる人もいます。八百屋さんの前を通るとき子どもたちが立ち止まり「カボチャだ」と季節の野菜に興味を持ったりしています。子どもたちが地域の中で見守られ成長していくために、今後は園の行事に地域住民を招待したり、感染症に注意をしながら地域のイベントに参加するなど、活動の幅を広げていくことも良いと思われれます。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫をしている
タイトル①	高層マンション2階という環境の中で楽しい工夫をして子どもの生活と遊びを豊かにしています	
内容①	園は高層マンションの2階に位置していて制約の多い環境の中、活動にさまざまな工夫をしています。雨や雪の日には2階のテラスを歩き、雨や雪が降ってくる様子をみながら、独特の音や匂いを感じる体験をしています。室内での夏祭りでは、子どもが引く山車の中に水のペットボトルを入れて重さを感じさせました。保育室の壁には電車・動物・植物などの図鑑の表紙や写真を貼って、興味を引き出しています。虫かごに手作りの虫や恐竜を入れたり、洗面器の水に玩具の金魚を入れるなど、楽しいアイデアをすぐ実行し、子どもの遊びが豊かなものになっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	さまざまな野菜に触れ、匂いをかぎ、切る音を聞くなど五感を養う食育をしています	
内容②	子どもたちの五感を大切に食育活動をしています。ゴボウ、ダイコン、ニンジン、ピーマン、レモンなど多様な野菜を使って、手で触れる、匂いをかぐ、切った時の音を聞くなどを体験させています。ピーマンを切って「どんな音がしたかな」「中にタネが入っているね」と語りかけた日は、給食のピーマンを全員が完食しました。またソラマメの出る絵本を読み聞かせしたあと、子どもたちはソラマメのサヤを割った中を触って、ふわふわのベッドみたいと驚き、塩ゆでのソラマメを食べました。発達に合った方法で、食への興味と意欲を育てています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	散歩で出会う近隣の人々と挨拶を交わし動物を見せてもらうなど自然な交流をしています	

内容③	<p>子どもたちはよく戸外に出かけ、多様な経験をしています。周囲には昔ながらの商店街が多く、散歩に出てきた子どもたちに声をかけたり、ゾウガメなど飼っている動物を見せたりしてくれます。八百屋さんでは、店先に季節の野菜が登場するのを見えています。電車の見える公園にも出かけ、いろいろな電車に子どもたちが興味を持つようになってきました。今後は、商店街で子どもたちが園で必要な品の買い物をするなど、地域の人々の仕事に触れて、交流を深めていくことも期待されます。</p>
-----	--

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子ども一人ひとりに寄り添い、個性や特性を伸ばす保育を実践しています
	内容	小規模な園である特色を活かし、子ども一人ひとりの気持ちを大切に丁寧な寄り添う保育をしています。子どもの1日の様子は保育日誌の個別欄に詳細に記録されています。その子に合った個別月案を作成して実践に移し、月末には評価と反省を記入して、その後の成長に見通しを立てて保育をしています。集団での活動に入りたくない子も、それを個性として捉え無理じいをせずに、興味が持てるようにゆっくりと見守っています。個々の子どもに寄り添う保育のあり方については、職員間でも話し合いを重ね、保育方針として共有し実践しています。
2	タイトル	送迎時の会話や連絡帳のやりとりを大切に、親同士の交流の場も開いて保護者を支援しています
	内容	保護者には第一子を育てている人が多いうえ、コロナ禍により人と出会う機会も減り、孤立した育児になりかねない状況でした。園では送迎時の保護者との会話を大切に、子どもの状況を伝え合ってきました。連絡帳には園での子どもの様子を具体的に書いて渡し、保護者が育児の悩みを書いた時は返事を返し、連絡帳が育児相談の場になることもあります。感染に注意しながら、保護者会では親達話し合う場を作り、保護者参加行事を開催して、親同士が仲良くなれる機会を作っています。園から親への日常的な配慮が保護者支援になっています。
3	タイトル	業務の手順を共有するため、職員全員にマニュアルを回覧し、内容を把握したらサインを受けるなどの工夫をしています
	内容	職員全員がマニュアルの内容を把握して、業務を標準化できるよう工夫を重ねています。開設から日の浅い園ですが、姉妹園や区立保育園のマニュアルを参考にして、危機管理、保健衛生管理、地震等防災など、独自マニュアルを作成してきました。また園の実情に合った散歩マニュアル、水遊びマニュアル、沐浴マニュアルなども作られています。新しいマニュアルは職員全員に回覧し、内容を把握した職員からサインを受けています。コロナ禍での感染防止など膨大な文書が届いた時は感染防止チェックリストを活用し要点を職場全体で共有できるようにしました。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園が大切にしている理念の実践に向けて職員の確保と定着化が望まれます
	内容	現在園では、園長の他保育士、調理師が勤務していますが、さらに充実を図るため保育士2～3名の採用を目指しています。また、開園後新たな職員で一部退職者が出るなど園の安定化も課題としてあります。現在保育士の増員を当面の課題とし、採用活動に力を入れています。区のハローワークへの求人募集の申請、保育関係の求人サイトへの募集登録の実施、ホームページに求人情報の掲示などを実践しています。今後はさらに、働きやすい職場、長く働ける職場など職場環境にも考慮されることも必要と思われれます。
2	タイトル	乳幼児の入園促進に向けてホームページ、見学会、園の空き情報の公開などに加え、地域エリアへの積極的な展開が望まれます
	内容	乳幼児の今年度の定員は0歳児6名、1歳児7名、2歳児5名、計18名です。開園後2年間利用率向上に向けて努力され、本年9月に定員を満たしました。しかし年度が変わると保護者の転勤・引っ越しなどで、退園者が出る可能性があります。園はホームページを通じて入園について説明をおこなったり、見学会でも積極的にアピールするとともに区の情報を活用して園の空き状況を公表しています。園は駅から5分の近場にある利点を生かし、近隣から駅に向かう地域住民に対しても活動を展開されるとのことですので、積極的な活動が期待されます。
3	タイトル	個人情報や守秘義務を伴う情報はマニュアルなどで整備されていますが、公開すべき情報の整備と効果的運用を期待します
	内容	園の情報管理とは園に必要な情報を収集し、活用し、よりよい運営に生かすために管理することです。情報には都・区など外部から得られる外部情報に加え、園長・職員が作成する内部情報があります。また情報には積極的に公表し周知すべき内容のものと、個人情報のように開示を制限すべきものがあります。個人情報や守秘義務を伴う情報はマニュアルなどで整備されていますが、公開し情報共有すべき内容はまだ未整備で公開範囲も決まっていないようです。情報の区分の体系化と公開・活用すべき情報の効果的運用が期待されます。